

家族の笑顔あふれる住まい

# 笑家

快適生活  
応援  
マガジン

Nikka Home

保存版  
Preservation  
edition

めざすのは、1年中快適な住まい

特集

## 賢い断熱のススメ

考えてみよう 住まいにとって断熱とは?

健康への影響大!「暑い家・寒い家」  
結露とおさらば 最適な温度・湿度に着目  
コスト削減!断熱化で冷暖房効率アップ!



実例リポート!

### 断熱化リフォームのお宅を取材

住まいの劣化を最小限に!

メンテナンスの適切なタイミング

季節ごとのお困りごとを解消!!

最新リフォーム・新機能をPick Up!

快適度UP!笑顔満開!

住まいに取り入れたい商品ラインナップ

知っておこう。日本の新基準  
省エネルギー基準義務化の事

賢く・計画的にリフォームしよう  
リフォームローン選びのポイント

ニッカホーム  
ニッカホーム関東株式会社



# 快適に暮らせる住まい 秘訣はメンテナンス!

あなたの住まいは築何年目でしょうか?

この機会に住まいの気になるところ

プロの目で診断してみませんか?

これまで、日本の住宅寿命は…

約25年と言われていました。

しかし現在では技術の向上と、暮らし方に合わせた適切なメンテナンスを行うことで

住宅寿命は、約50年以上

と言われるまでに延びました。

逆に、メンテナンスを怠ることによって、寿命を縮めてしまっていることもあります。

マンションの場合は管理組合が行いますが、戸建て住宅はご自身で行う必要があります。



## 住まいのメンテナンススケジュール

住まいの部分	5年	10年	15年	20年	25年	30年
屋根	屋根材	表面塗装	表面塗装	表面塗装	葺き替え	
外壁	外装材	表面塗装	表面塗装	張り替え・増し貼り		
	目地	打ち替え	打ち替え	打ち替え		
内装	室内ドア	作動点検	作動点検	部品交換	作動点検	本体交換
	フローリング	部分補修	部分補修	部分補修	程度に応じて部分補修または貼り替え	
防蟻処理	処理	処理	処理	処理	処理	5年毎に実施
キッチン	部分点検・交換	機器本体の点検・交換	部分点検・交換	本体交換	繰り返し	
	本体	点検・補修	点検・補修	本体	点検・補修	繰り返し
浴室	換気扇・その他	点検・部品交換	点検・部品交換	点検・交換	点検・部品交換	繰り返し



住まいのことはなんでもお気軽にニッカホームにご相談ください。

住まいの検査・診断をして、その診断結果に合わせた

適切なメンテナンスやアドバイスを行います。

皆さまの暮らしに合わせ、より快適な生活をご提案するのがニッカホームのリフォームアドバイザーです。

リフォームすることで、日々の不便さや不安が解消され、毎日の生活が快適になった、という声をよく耳にします。

リフォームをするということは、快適さ・利便さだけでなく、建物の寿命を延ばしてくれるという側面も持ります。

お客様の大切なマイホームを、永く快適にお住まいいただけるお手伝いをさせていただきたいと思っております。



## 家の点検メンテナンスをおすすめする理由

### 1 永く暮らせる 健康な住まいに

永く暮らせる良い状態を保つためには、定期的にメンテナンスすることが大切です。適切な時期に補強やメンテナンスを行えば、耐久年数を2~3倍にすることもできます。

### 2 住まいの資産価値を 維持するために

土地の値段に比べ、住宅の価値はどんどん下がっていくのが現状です。住宅の性能や品質をしっかりと保つことで、住宅寿命を延ばすことになります。一定の条件を満たせば補助金がおりたりと、国も住まいの活用を推進しています。

### 3 住まいの コストを削減するために

住宅は知らぬ間に見えないところから劣化が進み、修繕が手遅れになるとかなり大規模な工事が必要になる可能性も。定期的に診断することで早期発見につながり、結果的にはコストの削減が可能です。

### 4 家族の安心・安全な 暮らしのために

いつ起こるか分からぬ災害・お家の中の事故の心配をなくし、安心して暮らすためにも、今のお住まいの健康状態をしっかりと把握し、対策をすることが大切です。必要なメンテナンスや修繕をするために、プロの視点からアドバイスさせていただきます!



# 最新リフォームで日常の

季節の変化によって、住まいの悩み事も変化します。  
せっかくリフォームするのなら、気になる点は徹底的になくしたいもの。  
住み慣れたお家をよりよい快適空間にするために、気になる点を見直しておきませんか。

花粉シーズンには  
**浴室乾燥機**  
TOTO 浴室換気暖房乾燥機三乾王  
「外に干せない」とときは  
お風呂場が乾燥室に早変わり!



花粉シーズンには  
**天井埋込形空気清浄機**  
Panasonic 天井埋込形空気清浄機エアシー  
天井埋込で見た目スッキリ!  
空間をキレイに場所をとらない  
空気清浄機。PM2.5対策にも!



熱中症対策には  
**断熱金属屋根**  
横暖ルーフガルバリウム鋼板(断熱材入り)  
熱を遮る鋼板と厚みのある断熱材で  
性能抜群の屋根。暑さをカットし  
住まい全体を守ります。

熱中症対策には  
**シェード**  
YKK AP アウターシェード  
室内の温度上昇を抑え、夏をより  
快適に。室内熱中症のキケンから、  
大切な家族を守ります。



熱中症対策には  
**内窓・玄関リフォーム**  
YKK AP かんたんマドリモ・かんたんドアリモ  
窓や玄関などの開口部は、住まいの中で  
いちばん熱の出入りしやすい場所。  
開口部の断熱性能を高めることで、  
夏も快適になり冷暖房も節約できます。



花粉シーズンには  
**サンルーム**  
YKK AP サンフィールⅢ  
雨や花粉を気にせずに洗濯物が  
干せる。暮らしに特別な時間を  
もたらすテラス囲いです。  
気候・時間・季節に関わらず、  
物干し空間の快適性を大幅に  
向上させます。



# 春夏秋冬



# お困り事を解決!

ヒートショック対策には  
**浴室の内窓**  
YKK AP マドリモ  
熱を伝えにくい樹脂窓で  
窓が原因の冷え込み等を  
効果的に軽減。  
寒い冬でも浴室を温かく保ちます。



結露対策には  
**発泡ウレタン断熱材**  
あわあわニッカ  
機密性が高い断熱素材で  
冬の寒さ、夏の暑さ  
結露を防ぎます。



ヒートショック対策には  
**ほっカラリ床**  
TOTO サザナ  
「W断熱構造」が床裏からの冷気を  
シャットアウト。優れた断熱性能で  
室温とほぼ同じ温度を実現。

# 冬



台風対策には  
**壁付けシャッター**  
YKK AP 壁付けシャッター  
今ある窓に外壁の上から  
取付けできるシャッター  
です。雨風から窓を守り、  
防犯性もアップします。

# 秋



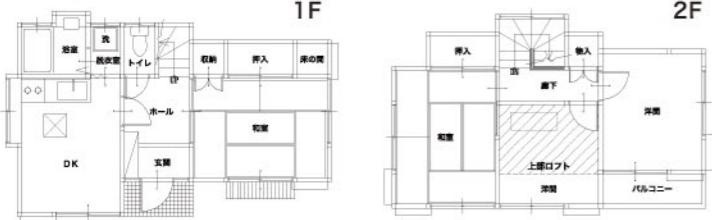
台風対策には  
**雨樋**  
YKK AP レイナポートグランシリーズ  
日本列島は台風の通り道。  
突発的に吹く強風も年間を通じて  
起こっています。  
耐風圧強度 風速=38m/秒相当に  
設定されており、安心。

雨樋に割れや歪みの破損や傷みがあると  
強風・豪雨の際に雨水が溢れ、建物内部に侵入し  
柱や床などの構造部を腐食させる原因にもなります。

# 「これから」に寄り添う住まいへ



Before



After



キッチンは、動線を考え動きやすいL字形に。  
床下収納を設置したことで、道具もすっきり收まります。



洗面所と一緒にになってせまかった浴室は、別にして広々と。白を基調とした清潔感のあるユニットバスは断熱仕様でヒートショックも防げる、安心・快適な空間に。

普段、2階のベランダに洗濯物を干す奥様の負担を減らす為、1階にあった洗濯スペースを2階の廊下へ移動。



玄関スペースを増築し、引き戸を1枚挟むことで扉を開けても直接外気が入り込まない造りに。床は滑り止め効果のあるタイルで、雨の日も安心です。

広く、明るく、暖かな  
大満足の我が家に生まれ変わりました。

実例リポート  
断熱化の住まい

東京都 黒坂様宅

住み慣れた住まいも築35年が過ぎ、耐震性の不安や冬場の寒さ、狭くて使い勝手の悪い間取りなどが気になっていたという黒坂様。ご主人の年齢とともに、ヒートショック対策やバリアフリー化も叶えたいというご希望で、住まい全体を一新する、フルリフォームを行うこととなりました。

まずは、ご希望と予算と照らし合わせ、リビングや水廻り、玄関など、ひとつひとつ丁寧にご提案。打ち合わせを重ねて、最適なリフォームプランが完成しました。不安のあった耐震面は、建物をスケルトン状態にして構造体を補強。さらに、発砲ウレタン断熱材を採用したことでの冬場の寒さも解消しました。細かく区切られ、狭く光が届きにくかった1階は、

居間とダイニング、キッチンをつなげたワンルームにして広く明るい空間に大変身。さらに、白い壁と薄めの木目調に統一することで、より広く感じられるよう演出しました。

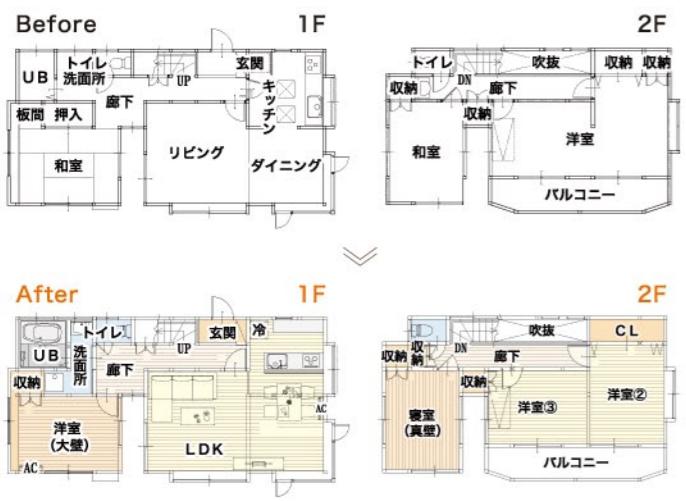
また、各室の収納スペースは、ご家族それぞれのご要望に合わせた容量・使い勝手を実現。住まい全体の断熱性が向上したこと、湿気の心配もなくなりました。

リフォームをしてから1年。「快適です。以前の家は特に冬の寒さがきつかったのですが、今は1階のファンヒーター1台で家全体が温まるんです。とても健康的な省エネ住宅になったんだなど実感しています。」と、お喜びの声を頂いています。



1階は、仕切り壁で最大3室に区切れるようになっており、来客時など必要に応じた空間の使い方ができます。  
階段脇のカーテン裏は収納スペースで、奥行きのあるL字形なので、使いやすさも収納力も抜群です。

# 家族の笑顔が溢れる場所に



内装は、白い壁と落ち着いた色の木目で仕上げ、シンプルで親しみやすい雰囲気に。



リビングは広く感じられるよう、天井を上げ、照明は埋込式に。家族みんなでゆったりとくつろげる空間になりました。  
キッチンは対面式に変更したこと、子どもたちの様子を見ながら料理ができます。



トイレは清潔感のある白で統一。

中古住宅をフルリフォーム。

子育てしやすい、快適な住まいになりました。

実例リポート  
断熱化の住まい

東京都 小林様宅

30代のご夫婦と小さなお子様2人という家族構成の小林様。リフォームをすることを前提に中古住宅を購入し、入居前にニッカホームで全面改装を行うこととなりました。

リフォームのテーマは、「子育てのしやすさと子どもの成長を考えた間取り」です。1階のキッチンは、窓側に向いていたコンロやシンクをダイニングテーブルと対面できる向きに変更。料理や洗い物をしながらでも、リビングにいる子どもたちとのコミュニケーションが楽しめます。大きな窓から陽光がたっぷり入り込むので明るく、壁・床に発砲ウレタン断熱材施工と窓の全面断熱化により、寒さや暑さを感じにくい快適なリビングに。

廊下の押入れをキッチンにあった洗濯機置き場に変えて、お風呂→洗濯の動線も作りました。子育て中は洗濯物も多いのでとても便利。

2階は、広かった1室を6畳ずつの2室に変更。将来はお兄さんと妹さん、それぞれの子ども部屋にすることもできます。

もうひとつの和室は洋室に変更。子育てが落ち着いたら、奥様のネイルのお仕事のスペースにしたいそう。2階にもあった洗面化粧台は、収納スペースに変えたことで物がすっきり収められます。

こうして、中古住宅が、まるでこだわりの新築のように生まれ変わりました。新しい住まいと共に育っていく、お子様の成長が楽しみです。



1階の和室はフローリングに変えて洋室にしつつも、和の雰囲気を残した趣のある空間に。  
子育てが落ち着いたら、いずれご夫婦の寝室にするそうです。

## 愛着ある心地よい空間へ



夏も、冬もこれで安心。

今後もここで、ずっと暮らしていきます。

実例リポート  
断熱化の住まい

東京都 中野様宅

マンション10階の角部屋に位置する中野様のお住まいは、リビングにある大きな窓からの見晴らしがよく、とても開放的で明るい空間です。しかし、リビング北側の和室の結露、外の風の音が響くなどのお悩みを抱えていました。

「とても気に入っているマンションだし、今後もずっと快適に住めるようにしたい。」というご希望で、リフォームをさせて頂くこととなりました。

「高層階」と「大きな開口部」という条件が、お悩みである結露発生の原因。そこで、全ての窓を断熱用にリフォームすることをご提案しました。さらに、各部屋の光の当たり方や、すきま風、騒音など細部のお悩みを伺って、各所に最適なサッシを選択しました。日当りが良く、夏場は暑く感じてしまうリビングの大きな窓は遮熱性のサッシに。

冬場はファンヒーター1台で生活しているそうです。浴室の窓は、真空ガラスにすることで冬の寒さを軽減。これでヒートショックのリスクも減少できます。また、省エネ関連の補助金制度が利用できることをお知らせし、活用して頂くことでコストも抑えることができました。

リフォーム後、中野様のお宅は1年を通して快適。お悩みだった結露の発生もありません。外の音も気にならなくなり、住まい全体の気密性のよさを実感されているそうです。

「老後に向けて健康に暮らせる住まいになって、さらに愛着がわいています」と、住み心地に大変満足されている様子でした。



特にひどかった北側和室の結露も、すっかり解消。着物の着付けを教えていた奥様の仕事スペースとして活用されています。



お客様一人ひとりに合わせた空間をご提案します。 担当者: 篠田 早紀

お住まいのどんな小さなお悩みも、丁寧に解決させて頂くのが私のモットーです。リフォームは、お客様のお悩みや希望をしっかりヒアリングすることから始まります。その上で、お客様の快適な住まいのために、ベストなご提案をしています。目指しているのは、リフォーム後もお客様と長くおつきあい頂けるパートナーになること。そのために、いつもお客様の気持ちに寄り添い、ご要望にお応えできるように、常に勉強するよう心掛けています。



1年中快適な住まいに

## 賢い断熱のススメ

断熱の事考えてみましょう！

あなたのお宅ではこの冬、暖かく過ごすことができましたか？

「暖房をガンガンつけていても寒かった」「窓の結露に悩まされた」といった感想もちらほら聞こえてきそうです。

一方で夏では「クーラーをつけてもなかなか涼しくならない」というお宅も多いのではないでしょうか。実はこれらの症状は、住まいにとっても、そこに住む人にとっても、放っておくと大変なこととなる黄信号なのです！

今回の特集では、そんな「寒い家・暑い家」が抱えるリスクとその改善方法についてお話しします。



## 住まいにとって「断熱」とは？

日本の国土は「温暖湿潤気候」と呼ばれる気候区分に属しています。四季の変化がはっきりしており、夏は気温が高く多くの雨が降り、反対に冬は気温が低く湿度も低下することが最大の特徴です。

私たち人間は夏には薄手の衣類を、冬には厚着をすることでその季節ごとの快適な過ごしができますが、住まいに関してはそのようにいきません。夏に涼しく、冬に暖かい暮らしを送るために、住まいの「断熱」が非常に大きな役割を果たします。

「断熱」とは文字どおり、外気の熱を断ち室温を一定に保つことを意味します。同時に、室温が外気へ逃げるのを防ぐことも断熱の役割です。季節を問わず健康的で快適な住環境を作り上げることが、断熱の大きな目的であると言えるのです。

## メリット色々！「断熱」の重要性

住まいの断熱化を進めるこによって得られるメリットはとても多くあります。

その中でまず頭に浮かぶものは、「1年を通じて快適な室温で暮らせる住まいになること」であることは間違いないでしょう。

特に冬場に「結露」が発生するお住まいには、断熱化をぜひとも考慮してもらいたいもの。というのはこの結露、みなさんが思っているよりもはるかに厄介な現象なのです。詳しくは後ほどお伝えしますが、この結露を防ぐこと自体も、住まいの断熱化によって期待できる大きなメリットなのです。

断熱によってたらされるメリットは、こういった室温や外気温に関連するものばかりではありません。住まいを高断熱化することにより、住まい自体の耐久年数の減少を防止する効果も期待できます。つまり断熱化によって「長持ちする家」となり、快適な暮らしを長く続けられる可能性が一層高まります。

また、夏や冬におけるエアコンなどの暖房器具や冷房器具の使用頻度が抑えられることも、住まいの断熱化によって期待できるポイントのひとつと言えるでしょう。住まい自体が省エネルギーとなることは、地球環境にとっても家計にとってもうれしいことではありませんか？

## 「断熱」の方法とは？

住まいの断熱方法には大きく分けて2つあります。そのうち「内断熱工法」は柱や間柱のすき間に断熱材を入れて行うもので、比較的安価な工事費でできることや施工が簡単であること、外壁が厚くならないなどのメリットがあります。

その一方で、しっかりと施工を行わないと結露を発生しやすくなったり機密性が悪くなったりするデメリットもあります。しかし近年では発泡ウレタンによる内断熱工法も開発されており、これらのデメリットを解消した内断熱も広まっています。

もうひとつの断熱方法が、断熱材を外壁仕上げ材のすぐ裏側に設置する「外断熱工法」です。

建物の構造体を覆う形の断熱法であるために機密性に優れ、結露の発生も抑えることができるほか、柱などの構造体を保護するために傷みにくいメリットが挙げられます。しかし工事費が比較的

高く、外壁の厚みが増すために敷地まわりが広いことが設置条件に挙げられる点も見逃せません。内断熱と外断熱のどちらが優れた断熱法なのかは、断熱をする建物の構造や施工精度、また木造・コンクリート造などの建物自体の建築工法にもよるため、断熱をする建物に合った工法を選択する必要があると言えるでしょう。

また、断熱材として利用されるものも、大きく分け2種類あります。繊維の間に空気を閉じ込めて断熱効果を生み出す「繊維系断熱材」と、発泡スチロールなど無数の細かな気泡により空気の層を形成する「発泡系断熱材」です。

「繊維系断熱材」の代表例としてグラスウールやロックウールが挙げられます。ガラスと砂を原料にしたグラスウールは製造エネルギーが比較的低いため安価で、玄武岩や石灰などで作られるロックウールはグラスウールに比べてやや高価となる傾向があります。これらは不燃性であることから耐火性にも優れており、重量も軽いため施工性が高く、シロアリなどによる被害を受けにくい点もメリットとして挙げられます。一方で気密性を高めるためには高度な施工技術が必要となり、湿気を過度に吸わないようにする処置が必要となる点も特徴の一つです。

また「発泡系断熱材」では押出法ポリスチレンフォームやフェノールフォーム、そして硬質ウレタンフォームなどが挙げられます。これらは繊維系断熱材に比べて高価であることが多いですが、断熱性能の高さや施工が容易であることがメリットとして挙げられ、特にフェノールフォームは経年にによる性能の劣化が小さく、かつ防火性にも優れた断熱材として知られています。



## 「寒い家・暑い家」は健康への影響も！



断熱化が十分に行われていない家は、夏には暑く、冬には寒い住環境となります。冷暖房を常時オンにしていかなければならないのはもちろんですが、これらの「寒い家・暑い家」は、住む人への健康に大きな影響があることを忘れてはなりません。特に冬のヒートショックや夏の熱中症など、生命の危険までもたらしてしまう影響は看過できません。ほかにも冬には結露が発生し、そのことによりアレルギー症状やシックハウス症候群などの疾病を発生させることにもつながる恐れがあるのです。



1年中快適な  
住まいに

# 賢い断熱のススメ

## 結露が引き起こす住まいへの被害

あなたの住まいは大丈夫でしょうか?  
見えない箇所の結露も住宅を壊していきます。



**カーテン・壁紙**  
窓ガラスに結露による水滴がカーテンに付き、壁紙がはがれたり、カビが繁殖します

**布団・座布団**  
床と、体温によって温められた敷布団の間で温度差が生じ結露が発生。布団にカビが繁殖します

**畳・絨毯**  
畳や絨毯の表面や、タンスの背後など通気性の悪い箇所にカビが繁殖します



## 本当に怖い!「結露」とは

冬に発生する「結露」は、湿度や室温などの諸条件が重なり発生する自然現象です。この結露は、ただ単に窓やカーテンに水滴がついているわけではありません。放置しておくと、住まい自体に大きな影響を及ぼすだけでなく、住む人の健康にも様々な問題を引き起こしてしまう、実に厄介な現象なのです。結露によるこのような被害で、住まいの耐久年数はダウンしてしまうのです。そして結露による被害を未然に防ぐためには、結露の発生条件を防ぐことが大切です。結露は低い室温と高い湿度によって起きることを考えると、自ずとこの2つの条件を見直すことが重要だとお分かりいただけるでしょう。

## 冬の室内の低温化を防ぐ「断熱」

結露の発生条件のうち、低い室温を防ぐために欠かせないのが、断熱化です。住まいの断熱には大きく分けて2つのポイントがあります。まずは、建物全体を断熱すること。外気の冷気や熱は建物を通じて室内へと移動するために必要な対策です。主に壁や天井、床などの断熱がこれに該当します。

次に、開口部を断熱すること。開口部とはドアや窓のことを指しますが、実はこの開口部が熱を通す量は、建物の他の部分に比べて、なんと7倍から12倍も多いのです。それゆえに、開口部の断熱が住まい全体の断熱性能の良否を決めると言っても過言ではありません。つまり、結露の原因の1つである低い室温を防ぐためには、壁も床もそして天井も断熱を施すだけでなく、窓の断熱を考えることが最も重要なと言えるのです。

## 冬の室内から湿気を減らす方法

湿気の原因となる要素は、冬の生活にとって欠かせないもの。快適な生活を送りながら湿気を抑えるためにはこんな方法があります。

### 1 換気に注意を払う

暖房や調理、入浴などで発生した水蒸気を室外に排出するために、換気に留意しましょう。換気扇を運転したり窓を開けて空気の流れを作ったりすることで、室内に発生した湿気をたまに排出することができる可能です。

### 2 湿気の発生源を減らす

石油ストーブやガスファンヒーターなどの暖房器具を、水蒸気が発生しないエアコンや床暖房に替えることにより湿気の発生が軽減できます。また、入浴の前後には浴槽にふたをすることや、洗濯物の部屋干しをしないことによっても湿気の発生を抑えることができます。

### 3 除湿を行う

換気によって室温が下がる場合など、換気が難しい時には、エアコンをドライ運転したり除湿機や除湿器を使用したりすることで室内の湿度を下げられる効果が期待できます。

### 4 内壁を吸湿性の良い素材に

室内の壁を漆喰や珪藻土など吸湿性の高い自然素材のものに替えることで、室内の湿気を抑えることが期待できます。漆喰は姫路城など多くの文化財に使用されており、耐火性や脱臭効果も優れています。珪藻土は、吸湿性は漆喰以上の能力を持っています。近年注目を集めている内壁材です。

## 冬の室内の高湿度の原因とは?

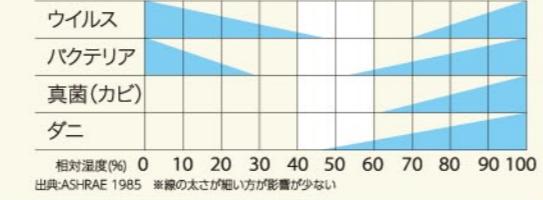
結露を発生させるもうひとつの原因が、室内の高湿度。「冬=乾燥」というイメージを持たれる方も多いと思いますが、実は冬の室内では大量の湿気を発生しているのです。例えば、石油ストーブやガスファンヒーターなどの暖房器具からは1時間あたり約400ミリリットルもの水蒸気が発生させます。これらを仮に加算すると、なんと7リットル以上もの水分が室内に発生していることになります。

の湿気を出しているのです。また、夕食1回あたりで使用されるガス調理器からは約1.1リットル、4人家族の洗濯物の部屋干しでは1回につき約1.8リットル、1時間あたりの入浴では約3.5リットルもの湿気を発生させます。これらを仮に加算すると、なんと7リットル以上もの水分が室内に発生していることになります。

## 結露を防ぐための最適な温度・湿度に着目!

室内の温度と湿度を最適に保つことが、結露を防ぐために重要です。そのためには湿度計を部屋に置いて湿度のチェックをすることがおすすめです。最適な湿度とはどれくらいなのでしょうか?外気温が10°C、室温が20°Cの場合、室内の湿度が60%を越えると結露が発生、80%以上だと大量の結露となります。一方、住まい自体や住む人の健康にも害を与える恐れのあるダニやカビの発生にも湿度が関係してくることに着目しましょう。

## 健康に対する最適湿度範囲は40%~60%



## 断熱が夏にも必要な理由とは

冬における断熱は、室内で暖められた空気を外に逃がさずいかに室内にとどめておくかという点が、重要なポイントです。一方暑い夏では、外気の高い気温が室内へと入ってこないようにすることが断熱のポイントとなります。

住まいの断熱とは、上記2つのポイントを満たした住環境を守ることではないでしょうか?さて、前頁で冬の結露についてお話ししましたが、夏も断熱が進んでいないと、住まいの中であらゆるアメリットが発生します。

その代表的なものが、室内で起こる熱中症でしょう。熱中症は夏の屋外で発症するイメージが強くなりませんが、実は室内の暑さこそ注意すべき点なのです。国立環境研究所の報告によると、2015年度に熱中症を発症した65歳以上の人のうちの58.4%が室内で発症しているのです。熱中症は体温が上昇して体温調節機能が異常を起こすことにより体内に熱がたまつて発症するものです。

また、断熱化が進んでいない住まいでは、夏の日の熱が夜まで残るため、寝苦しさを強く感じさせます。たとえ屋間に冷房をかけていても、夏は窓やドアなどの開口部から73%もの熱が室内へと入ってくるほか、屋根や外壁、そして床からも熱が流入しているのです。これらの流入していく熱を断熱化によって抑えることができれば、冷房効率もアップして朝も夜も涼しく快適に過ごすことが期待できるのです。

このように冬と同様に夏でも断熱をすることにより、暮らしの快適さが格段に違ってきます。

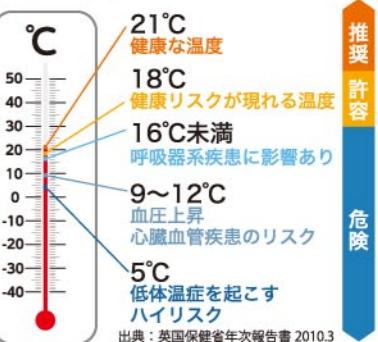
## 断熱の有無は健康にも影響

住まいが断熱化されていないと、住む人の健康被害にも及びます。前述の熱中症は断熱化されていない夏の「暑い家」が引き起こす健康被害の代表例です。一方、断熱を十分に施していない冬の「寒い家」では、主に2つの要素によって健康被害がもたらされるケースが多く、注意が必要です。その2つの要素とは、「結露」と「温度差」なのです。

前頁で述べたように結露が発生したまま放っておくと、ダニやカビなどが多く発生します。これによって喘息やアレルギーなどの健康被害が引き起こされます。さらに室内が寒いと暖房を過剰に使用する傾向があり、室内を過度に乾燥させると、喉の粘膜なども同時に乾燥し、風邪をひきやすくなります。やはり、結露を防ぐためにも室内の気温と湿度には十分注意しなくてはなりません。そして結露にも関係する「温度差」も、冬の室内で多くの健康被害をもたらす危険性があるので要注意です。その代表例が「ヒートショック」です。ヒートショックとは住まいの中での急激な温度差が引き起こす症状で、例えば暖かい居間から寒い廊下や

脱衣場への移動、またそこからの暖かい浴室への移動などの際に生じる急激な温度変化によって、血圧の乱高下や脈拍の変動を引き起こすもので、最悪の場合死亡事故にもつながる恐ろしい現象です。また、浴室が断熱化されていない場合、時間が経つにつれ浴室の温度が下がることにより浴槽のお湯との温度差も発生し、入浴した際に心臓麻痺を起こすリスクが高まることも認められています。他にも「寒い家」では、朝起きた時に、就寝時との室温の違いによって血圧の急激な高騰を引き起こす恐れにも注意が必要です。つまり、夏でも冬でも、断熱化していない住まいには多くの危険が潜んでいるのです。

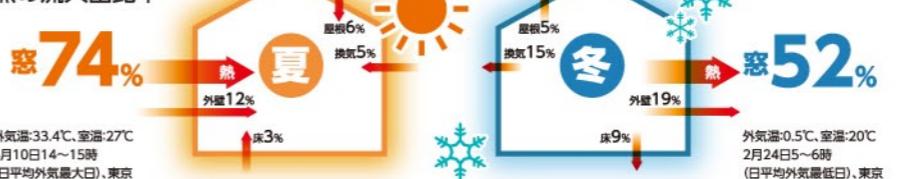
健康℃を知って健康な生活を心がけましょう



も室温のムラが生じます。そこで窓の断熱性を高めると外気の冷気が室内に伝わりにくくなり、コールドドラフト現象を抑えられるため窓辺や床のひんやり感が和らぎます。それにより部屋全体が均一な温度となり、不快な温度ムラが解消されます。窓の断熱性を高めることは、結露の発生を抑えることもあります。結露は外気の冷気によって窓の室内側の表面温度が下がることで発生しますが、断熱性能の高い窓はこの表面温度の低下を抑えるため、結露の発生をも抑えられます。一方夏は、断熱窓により外気の高温を室内に伝えにくくする効果があります。また室内で冷房で涼しくなった空気を外へ逃すことも抑えるため、涼しさを保つことができます。しかし夏は太陽からの日射熱が強いため、日射を遮ることも重要です。窓の外側にアウターシェードやサンブレロなどを設置することで夏の強い太陽光が室内に入ることを防ぎ、室温の上昇を抑える効果をもたらしてくれるのです。

## 窓を断熱化するだけで効果大!

夏と冬の  
熱の流入出比率



断熱が住まいにとって必要であると知っても簡単にできるものではありません。外断熱工法も内断熱工法もコスト・時間共にもかかってしまうものです。そこで、「住まい全体の断熱化」の話を思い出してください。最も手軽に効率良く断熱できる箇所がありましたね。そう、窓です。

窓は壁や屋根よりも薄く、また断熱材を入れることができないため、どうしても熱を通しやすい構造となっていますが、一般的なアルミサッシの窓を、

断熱性能の高い2枚ガラスや樹脂窓に替えるだけでも大きな効果が期待できるのです。

特に冬には断熱性の高い窓の効果が発揮されます。暖かい空気は上に上がり冷たい空気は下の方に溜まる性質があるため、暖房をつけた冬の室内では、窓からの冷気が壁と床をつたって足元に広がります。これを「コールドドラフト現象」と呼び、そのため窓際は特に寒さを感じやすくなります。暖房器具付近の室温は暖かいため、同じ部屋の中で

## 断熱化により冷暖房効率がアップ!

夏は涼しく冬は暖かい住まいに変えていくと当然、夏の冷房や冬の暖房を抑えることに繋がります。例えば冬の場合、断熱性能の高い窓に替えることでエアコンを停止した後の室温低下を抑えることができます。つまり暖房で暖めた室温を断熱窓が室内に留める働きをするため、外気の冷気による温度の低下を緩やかにしてくれるのです。また夏でも、冷房を停止した後でも外気の暑さが伝わりにくく、室温が上昇しにくくなる効果があります。

## 家庭におけるエネルギー消費の内訳





## 1日で住まいのお悩みをすっきり解決!

内窓や玄関なら1日で施工完了できるので、気軽に快適な住まいを手に入れることができます。

### 内窓リフォーム



冬は約50%、夏は約70%の熱が窓から出入りしています。

窓は、開け閉めをしなくとも夏には外の熱が入り込み、冬には熱が逃げていきます。内窓を取り付けて2重窓にすると窓からの熱の出入りを抑えられ、省エネ対策や結露対策に有効です。

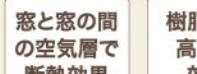


窓の断熱性・気密性を高めて、住みやすさアップ!



**YKK ap プラマードU**

今ある窓に設置して2重窓にする施工方法で約半日で施工完了。



窓と窓の間の空気層で断熱効果

樹脂製で高断熱効果

ガラスの種類も選べる

2重構造で防音効果



**YKK ap かんたんマドリモ**

カバー工法で、約2時間～半日で施工完了。

水密材で雨水の侵入防止

気密シートで冷気の侵入防止

水蒸気の遮断で結露防止

引手と錠の一體化で鍵の閉め忘れ防止

### 玄関リフォーム



気になる玄関のお悩みも、パッと解決できます。

お客様を迎える玄関は第一印象を与える重要な場所ですが、湿気やニオイ、光が入りづらくて暗いなど、様々な問題を抱えている場合が多くあります。住まい全体の温度や湿度も玄関が左右しているケースも多く、玄関リフォームは見た目だけでなく住まいの機能性向上にとても有効です。



壁を壊さないカバー工法だから、短時間でリフォーム完了!



**YKK ap かんたんドアリモ**

玄関ドアの取り替えはもちろん、ドアから引戸に替えることも可能です。「かんたんドアリモ」なら、生活環境の変化や住宅スタイルに合せて自由に仕様を選ぶことができます。

たった1日のスピード施工

ラクラク出入りができる設計

防犯対策の機能が多数

デザインやカラーが選べる

カバー工法って?  
既存の枠に新しい枠を取り付ける工法です。半日から1日で施工が完了します。

今あるドアや引戸の枠  
新しいドアや引戸の枠



## 風や光を取り入れて、快適な住まいへ。

自然エネルギーを上手に活用できるようになれば、室内の湿度や温度が大きく改善されます。

### 多機能ルーバー



光・風・プライバシーをコントロール。

無段階で動くルーバーの角度で通風性や採光性、プライバシーの確保などを調整し、取付けた空間の快適性を向上させます。



取付け時間約5分\*で、簡単に外壁を傷つけずに施工できます。  
※サイズと条件により取付け時間は異なります  
サッシ枠はめ込み式で施工するため、外壁を傷つけることなくスピーディーに取付けることができます。

採光機能  
目隠し機能  
日除け機能  
通風機能

### ウインドキャッチ連窓



風を積極的に取り入れ、心地良い空間に。

換気効率を重視した、開き方のバリエーションを設定しています。窓の外側もお掃除できるように配慮されており、お手入れもラクラクです。



風が入りしやすい設計で、快適な空間を保てます。

換気量約22倍  
体感温度差約1.4°C\*

\*室内の平均風速からリンク体感温度の式で算出

○条件  
使用ソフト:  
FlowDesigner10.0  
風速:1[m/s]  
風向:窓面に対して水平  
窓:16511サイズ  
部屋:5m×5m×2.5m  
※イラストはイメージです

### 取替用通風ドア・フラッシュドア



手軽にドアを新しくしたい方に。

ご使用中のドア枠をそのまま使って新しいドアを設置するため、特別な工事は不要。その為、わずかな時間で簡単に新しいドアにすることができます。



通風ドアなら、閉めたまま換気ができます。

上げ下げ障子を開けるだけで、部屋の中を換気するのに十分な通風面積が得られます。また、障子ロックをロック状態にすれば外から上げ下げ障子を動かすことはできません。網付格子には「クリアネット」を標準採用。従来の網戸に比べ通風性・防虫性に優れています。





## 吹き付けて発泡だから隙間なく断熱。

夏涼しく、冬暖かい暮らし。複雑な構造の住宅も吹付施工で隙間なく断熱。

驚異の新素材を使った「あわあわニッカ」を使えば快適なだけでなく、人や環境にやさしい住まいに大変身!



あわあわニッカは発泡ウレタンを使用した断熱リフォームです。冬は外からの冷気をカットし、室内の温かい空気を逃がしません。夏は外からの熱と湿気をカットし、中からの冷気を逃がさないため、冷房の効率を高めます。今までの断熱施工で解消できなかった隙間を、あわあわニッカの液体を吹き付けて発泡させる施工方法で隙間がなく高い機密性を実現することが出来ます。



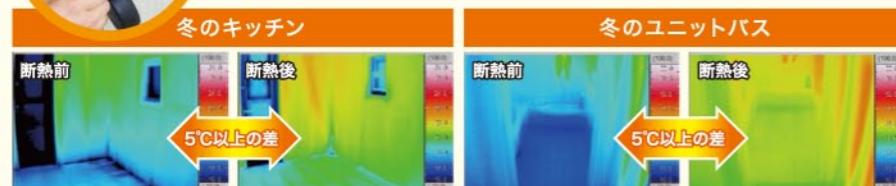
※画像はイメージです。



### サーモグラフィーカメラによる検証

室内の温度見える化!隙間風の多いキッチン、ヒートショックが心配なユニットバス、あわあわニッカの断熱性能を検証しました。

撮影時間帯の平均外気温:2.8°C、2011年1月21日 16:30~19:30エアコン25°C設定で15時間作動させ停止後の表面温度を測定



吹付施工だから色々な場所を断熱できます。



### あわあわニッカなら断熱施工の不安も一挙解決!

「あわあわニッカ」は環境に悪影響を与えるフロンガスを一切使わず、水を発泡材として使用する断熱材です。



木材の下面に透湿防水シートを貼ります。

通気層を形成する面材を、軒先部分までスキマなく貼ります。この通気層が、大きな断熱効果をもたらします。

面材の上からあわあわニッカを吹き付けます。吹き付けられたあわ液体は、発泡して膨らみます。

膨らんだあわあわニッカの厚みを確認し、壁からハミ出る部分を削ったら断熱層は完成!

出典:あわあわニッカHP



## 調湿性と脱臭力に優れた壁材。

しあわせつくるウォール「エコカラット」は、空気を美しく整えるインテリア壁材です。

季節をとわず快適な湿度を保ち、気になるニオイや有害な物質も低減します。デザインも豊富なので、空間コーディネートも自由自在。

## LIXIL エコカラット

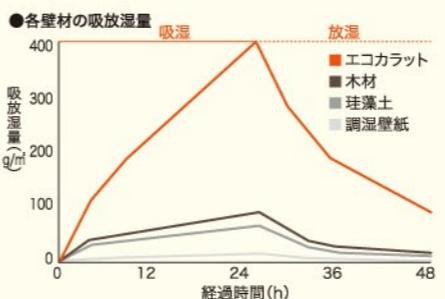
エコカラットは、優れた吸放湿特性で室内の湿度変動を安定させ、結露やカビ、ダニ発生の抑制が期待できるとともに、冬期に問題となる過乾燥を抑制し、快適空間を維持する効果があります。空間全体の調湿効果を発揮する目安として、空間の床面積のおよそ1/4以上の壁面積に施工していただくことをおすすめしています。



株式会社LIXIL

### お部屋の湿度変化を安定させ 結露や過乾燥を抑制。

吸放湿特性に優れた素材は、室内の湿度を一定に保とうとする働き(調湿性)にも優れています。エコカラットの吸放湿量は珪藻土の5~6倍、調湿壁紙の25倍以上。



※ 試験結果は当社試験によるものです。他建材、家具の配置、気象、換気などの環境条件によって異なります。(一財)日本建築センター 新建築技術認定事業「室内空気中の揮発性有機化合物汚染・低減技術認定基準」の試験方法に準拠し、小型チャンバーによる定期法にて試験。ADPACシステムを用いて温度28°C・相対湿度50%・換気回数0.5回/h・試料負荷率2.2(湿温差・換気率一定) m<sup>2</sup>/m<sup>3</sup>で、ホルムアルデヒドガスを定期的にチャンバー内に流して濃度を測定します。

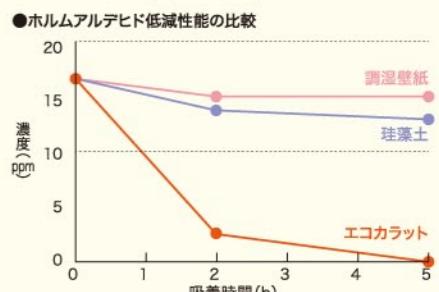
### ペットとの生活には特に おすすめ!

ペットを室内で飼っているお宅では、玄関のドアを開いただけで強いニオイを感じることがあります。これらの強いニオイも壁全体でお部屋を脱臭し、心地よい空気環境。



### シックハウス対策にも! 有害物質をキャッチします。

エコカラットは、ホルムアルデヒドなど有害物質を原料に用いていません。そればかりか、家具や他の建材から揮発するこれらの汚染物質を吸着し、濃度を低減する効果があります。



### トイレや玄関など臭いの発生元に最適!

エコカラットプラス Sシリーズ ラフソーン

トイレの過ごしかたは人それぞれですが、よいトイレの条件はみんな一緒。「臭いがこもりづらくて、掃除がしやすい」清潔なのが、やっぱりいちばんです。

エコカラットプラス Gシリーズ グラナスハリート

気になる臭いと一緒に意外と多い湿気をスッキリとさせれば、家族やお客さまを清々しい空気で、迎えることができます。



# ぬくもりに包まれた癒しある暮らしへ。

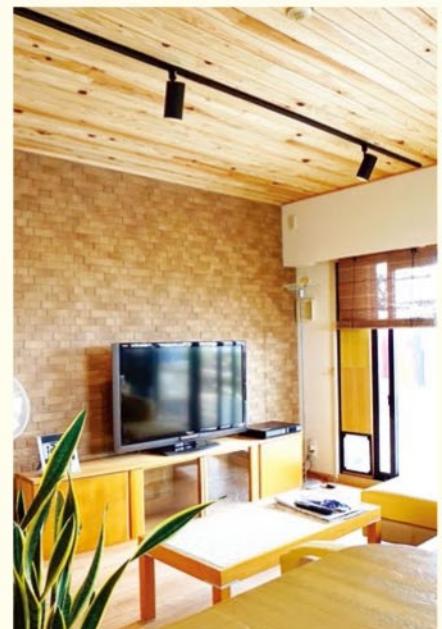
忙しい毎日に、ホッと一息つける心地よい空間を、あなたの家にも。

マルチな活用ができる、ニッカホームオリジナルの杉の天然素材。住まいに木のあたたかさを手軽に取り入れることができます。

## ニッカブロック

ニッカブロックは、美しい木目を持つ杉材を使った、ニッカホームオリジナルの天然素材です。壁材、床材としてはもちろんタイルを組み合わせて小物の制作もできる、応用力抜群の素材です。

天然杉の心地よい香りに包まれながら、あたたかな質感を住まいに手軽に取り入れることができるので、幅広い層からご好評を頂いている内装材です。



### 杉の自然浄化作用で 快適な環境を保ちます

杉には、水分や養分をポンプのように吸い上げる「仮道管」の隙間が多くあります。これにより、空気中の有害物質である二酸化窒素やホルムアルデヒドが吸収され、住まいをクリーンな空気に保ちます。



### クロスの上から簡単施工。 DIYで、プロ並の仕上がりに。

ニッカブロックは、切る、穴をあけるなどの加工が簡単にできます。器用さに自信がない方も、力仕事が苦手な女性でも、楽しく施工できます。さらに、ひと手間かければ小さめの家具をや小物を製作することも可能。ニッカブロックで手軽に、あなたしさのあふれるDIYをお楽しみください。



# 住まいの症状に合わせて 建物を健康に 人の暮らしを快適に



住まいに合ったリフォームで  
家族の笑顔が溢れる快適な住まいへ



### これまで冬場はいつも 結露が酷くカビが心配でした。

結露が酷くカビが心配。でも毎日は掃除できず、対策はとっていましたが根本的な解決にならず困っていたところ、YKK AP プラマードUを取り付けてからは窓辺の冷えが和らぎ、結露もほとんどなくなりました。以前は聞こえていた周囲の生活音が、今はほとんど聞こえません。外窓に合わせて内窓の大きさや開き方を揃えもらい見た目もスッキリ大満足です。



YKK AP  
プラマードU



### 昔ながらのタイル貼のお風呂が とても寒い。

お湯が冷めやすく自動追い炊き機能が頻繁に作動していました。施工後は浴室全体が暖かく、窓からの冷えも無くなり、追い炊き不要のため省エネで、まるで新築のお風呂の様に明るくなりました。



### 冬になると家全体が寒いので、 改善したい。

内窓設置と同時に施工、家全体が断熱できて快適になりました。ワンタッチでカギが開くので本当に楽です。また通気性抜群で結露を抑えられるため清掃も簡単です。



YKK AP  
かんたん  
ドアリモ



### 結露で悩んでいた部屋も 過ごしやすくなっています。

結露がひどい部屋があり悩んでいたところ、エコカラットの評判を聞きまし。ものは試しと部屋に取り付けていただいたところ、結露が減り、掃除などの手間も大幅に減りました。効果が目でみえるほどなので、驚いています。調湿以外にも色々な効果があるし、デザインがおしゃれなものも良かったです。



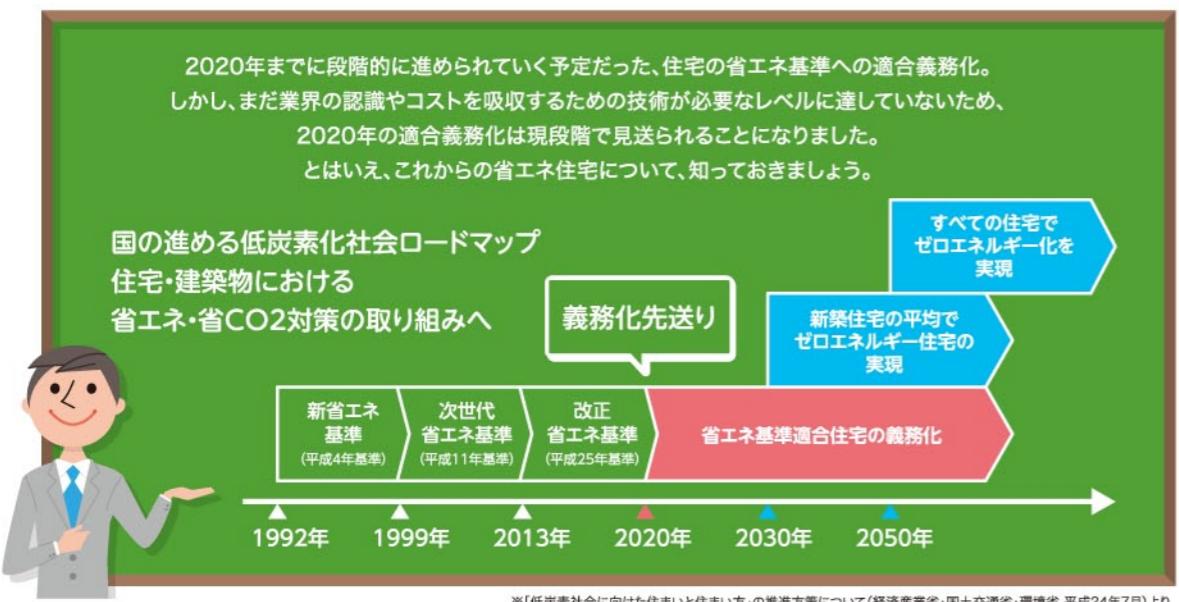
LIXIL  
エコカラット

### ニッカホームのリフォームアドバイザーが最適なプランをご提案します。

家族の増減や年齢、ライフスタイルの変化によって設備の役割も変わります。それぞれのお家と家族に合ったリフォームをニッカホームのリフォームアドバイザーにお気軽にご相談ください。ショールームには色々な施工事例もご用意しております!



# \\ 知っておこう！日本の新基準 // これからの省エネルギー基準



## 「省エネルギー基準義」とは

住宅の断熱化、実は国により基準が定められていますことをご存知でしょうか？これは「次世代型省エネルギー基準」というものです。1999年に制定された基準で、日本の断熱基準がやっと国際的な基準の最低レベルに追いついたと言われています。

実はそれまで、日本の住宅の断熱化基準は先進国の中で最も低い部類に入っていました。特に地球温暖化に熱心に取り組んできた諸外国に比べると日本政府の認識も甘く、おのずと私たち国民の認識も今までいたというのが実情です。

しかしエネルギー問題や地球温暖化問題は言うまでもなく、日本のみならず世界各国が協力し合わなくてはならない深刻な問題です。そのため日本政府は1999年以降もこの基準を実情に合わせるために改正を重ねてきました。この省エネルギー基準は、住宅全体の断熱性能に関して、エネルギー使用の合理化についての建築主の判断基準と、設計及び施工の指針によって定められています。つまり、一般住宅を建てる場合、施主もこの基準について理解しておく必要があるのです。

そして2015年4月には「改正省エネルギー基準」が完全施行され、今回は先送りとなりましたが、2020年にはすべての新築住宅において省エネルギー基準を満たすことが義務化される予定でした。これまで「目安」に過ぎなかった基準が「義務」となり、これからの住まいづくりに対する施主や設計者たちの心構えまでも一新する必要が生じたと言えるでしょう。この改正では2030年には新築住宅の平均でゼロエネルギー住宅の実現化が始まり、2050年にはすべての住宅でゼロエネルギー化を実現させることができます。

ゼロエネルギー住宅とは、住宅の高断熱化と高効率設備によって快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現したうえで、太陽光発電などでエネルギーをつくり、年間に消費する正味のエネルギー量がほぼゼロ以下になる住宅の事です。「ゼロエネルギーハウス」の頭文字から「ZEH(ゼッチ)」と呼ばれ、政府や建築メーカーが今後力を入れていく住宅となります。

## 改正前の基準と これからの基準の違い

2015年3月までの省エネルギー基準は、建物の外皮、壁・窓・ドアなど室内空間と外気との境になる部分の断熱性能だけで評価をするものでした。しかし改正後の基準では「外皮の断熱性能」を新たな計算方法で算出する方式に改めた上、「設備性能の評価」も加えて判断することとなりました。また「一次エネルギー消費」と呼ばれる冷暖房設備、換気設備、給油設備、照明設備などに仕様基準を設定し、総合的な評価が加えされました。つまり、建物と設備機器などを一体化した評価判断が行われることになります。

## 新しい基準で 削減できる光熱費は？

では、改正後の新基準は、改正前の旧基準に比べてどれくらいの光熱費が削減できるのでしょうか。現在、新基準を満たした住宅の年間冷暖房費

を例に見てみると、旧基準である1999年の省エネルギー基準住宅の年間冷暖房費は現在の基準の約1.6倍、1992年の省エネルギー基準住宅だと現基準の約2.6倍となっています。つまり、1992年基準住宅に比べて新基準の省エネルギー基準住宅は、約60%も冷暖房費を削減できている結果となります。

光熱費削減のベースとなっているのは、もちろん断熱性能の向上であることは言うまでもありません。これは、性能向上は光熱費でのメリットだけでなく、冬のヒートショックや夏の熱中症などの健康被害の減少にも効果があることを見逃さないようにしましょう。

## 「ゼロエネ」は 今後ますます一般的に！

新基準に基づいた省エネルギー住宅、特にゼロエネルギー住宅は、政府の計画や実現目標に基づいて今後急速に増加していくことは明白です。前述の通りゼロエネルギー住宅の実現は2030年には新築住宅の平均で、2050年にはすべての住宅で達成する目標であり、今後のスタンダードとなっていくことでしょう。

そして住宅構造体の断熱性だけにとどまらず、省

エネルギーの高い設備機器の導入が必須となる今後は、住宅を建てる際の費用を今一度見直す必要性があります。それは外観や内装の美観よりも、住宅全体の断熱設備をきちんと整えることが常識となります。

詳細はこちらのホームページをご覧ください

経済産業省 資源エネルギー庁  
<http://www.enecho.meti.go.jp>

# リフォームローン 選び方のポイント

リフォームを行うためには当然、お金が必要です。リフォーム自体の工事費用はもちろん、工事業者と契約書を結ぶ際に必要な収入印紙代や、増改築などを行う場合にかかる建築確認申請の手数料、居住しながらのリフォームが難しくなる場合の仮住まいのための費用、仮住まいへの引っ越し費用、工事の設計費、工事車両の駐車場費用、床面積が増加した場合の登録手数料や不動産取得税など、リフォームにかかる予算は多岐に渡ります。ある調査によるとマンション・戸建てのリフォームを行った予算の平均額は約348万円となっていますが、予算に対し実際にかかった費用は約452万円と当初の予算を上回った結果となっています。特に1,000万円以上の大規模なリフォームのケースで見てみると、当初予算の平均額が1,245万円なのにに対し実際の総費用は1,902万円と大幅に上回っています。予算より実際の費用が高くなる理由としては、「設備建材のグレードを当初より高いものに変更した」ことが最も多いとなっています。このように、リフォームは想像以上にお金がかってしまうもの。そのために上手に利用したいのが、リフォームローンです。

## リフォームに必要な費用とは？

- リフォーム自体の工事費用
- 収入印紙代
- 確認申請手数料
- 仮住まい・倉庫費用
- 引越し費用
- 工事車両の駐車場費用
- 床面積が増加した場合  
登録手数料・不動産取得税  
etc



## 銀行系と、銀行以外の金融機関、カードローンを利用したリフォームローンの違いは？

### 選択1 銀行系

銀行系リフォームローンの特徴は最大で1,000万円ほど大きな金額の借入ができることです。そのため借入期間も15年と長く設定されているケースが多く、審査基準も当然厳しい一面を持っています。

### 選択2 金融機関系

銀行以外の金融機関、特にクレジット会社などで借り入れるリフォームローンの場合、銀行系と比較して穏やかな審査基準となり、最大借入額は300万円程度、借入期間は10年程度となっています。自家への抵当権や担保が不要と設定されているケースが多いのも特徴です。

### 選択3 カードローン

銀行やキャッシング会社が行っているカードローンでのリフォームローンの特徴は、審査がとても穏やかであること、3.5%～5.1%程度の超低金利であることが挙げられます。借入額も最大で500万円～800万円ほどと高額なのも魅力です。

## 無担保型と有担保型

リフォームローンには「無担保型」と「有担保型」があり、この観点もメリット・デメリットを検討する際の材料となります。無担保型リフォームローンの特徴は、金利が高く融資限度額が少ない一方で、返済期間が短く融資が早いことが挙げられます。反対に有担保型リフォームローンでは金利が低く融資限度額が多く、返済期間が長いこと審査に比較的時間を使うことが特徴です。どちらを選ぶべきかの基準は、リフォームにかかる総予算です。小規模のリフォームの場合には無担保型を選ぶ方が適切ですが、大規模なリフォームを行う場合では無担保型では限度額に満たないケースも発生します。月々の返済額なども考慮して、検討する必要があります。また担保を設定する場合、諸費用が10万円から20万円程度と高額になってしまいます。そのために借入金額によっては利息よりも諸費用の方が高くなるケースも予想されるため、ここにも十分な注意が必要です。金利の低さだけで有担保型を選ばず、全体的にかかる総コストがどれほどになるのかを正確に把握することが大切です。

## 住宅ローンと比べると？

リフォームのための融資の借り入れには、住宅ローンを利用することもできます。特に1,000万円を超える高額の融資が必要な場合には住宅ローンでの借入を検討することが有効となるケースが多くあります。そこで、リフォームローンと比較して住宅ローンのメリットとデメリットを見てみましょう。住宅ローンは金利が低い一方で返済期間が長く、融資限度額が多いメリットがあります。しかし、担保としてご自身の住まいに抵当権の設定が必要となり、煩雑な手続きを経る必要があります。またリフォームローンよりも審査が厳しく、融資が実行されるまでの期間も長くなっています。リフォームローンを組む際には、金利や返済期間、リフォーム自体の工事費用以外にかかる諸費用、借り入れをする銀行や金融機関ごとのそれぞれの特色などについて、様々な方向からじっくり検討を行うことがとても重要になります。そのため金融機関での返済シミュレーションを利用したり専門スタッフにアドバイスをしてもらったりすることも大切です。よく見極めて、ご自分のリフォームに最適なリフォームローンを選択しましょう。

# 刊行にあたって

人間は環境に左右される生き物です。  
健康に過ごすうえで住環境がとても大切になってきます。

寒暖差で人体に及ぼす影響は、とても大きいです。

断熱化することにより、小さい子供がいる家庭では、ぜんそくやアトピー、アレルギーなどの症状が改善されたり風邪をひきにくくなったりなどの効果が証明されたりしています。

そして、最も怖いのはヒートショックで亡くなっている人数です。

交通事故の死亡者数を上回っています。

身近にある危険なのです。

私身近も、ヒートショックで親族を亡くしています。

今まで、健康に過ごしていた人の命が、突然奪われてしまうのです。

起こってはいけないことです。

ほとんどの人が、家で過ごす時間が1番長いと思います。

その環境を良くすることは、多大な恩恵があるのです。

しかし、断熱について深く考える機会は、あまりありません。

断熱は、例えばキッチンが新しくなったり、お風呂が新しくなったりなど目に見えて実感できるものではありません。

なので、工事後のイメージが難しいです。しかし、工事後のお客様の所に伺うと、非常に満足度が高いです。

これは、体感の満足度が非常に高いからです。

この冊子だけでは、もちろん伝えきれない部分もありますが、

少しでも断熱の知識が深まり、住環境について考えていただけるきっかけになれば、幸いです。

大掛かりな工事をしなくとも、断熱化することは可能なので、

少しでも興味持っていただけの方がいれば、お気軽にご相談下さい。



ニッカホーム関東株式会社 東京地区責任者  
**増田 誠** Makoto Masuda

入社後、営業や現場管理の経験を経て、現在西東京エリアを統括。営業時代、断熱工事を行いお客様の満足度が高いことを実感し、窓マイスターの研修を受ける等、断熱に関する知識を深める。  
現在、会社全体に断熱工事を推進。

## 編集後記

快適生活応援マガジン「笑家」をお手に取って頂き、誠に有難う御座いました。

たくさんの方に「住環境の大切さを知ってほしい。毎日をより良いものに、もっと快適な生活を送ってほしい。」という願いから本誌の発行に至りました。  
本誌を通じ、お住まいのメンテナンスの目安や、住環境と健康が密接な関係にあること、断熱リフォームの効果、ローンの仕組みなど、皆様の快適な生活づくりの手助けとなれば幸いです。

## 快適生活応援マガジン「笑家」 読者アンケート

アンケートの回答は右の  
綴じ込みハガキに  
ご記入  
ください

この度は快適生活応援マガジン「笑家」をお読みいただき誠にありがとうございます。  
誌面の充実を図るために、またより高いサービスをお届けするためにお客様のご意見を参考にしてまいります。アンケートにご記入頂き、右の綴じ込みハガキを投函いただきますようお願い申し上げます。

**Q1** 快適生活応援マガジン「笑家」の誌面内容の満足度をお教えください

**Q2** 面白かったコーナーの番号を下記から選び記入してください

**Q3** つまらなかったコーナーの番号を下記から選び記入してください

- 1.メンテナンスの適切なタイミング
- 2.最新リフォーム・新機能をPick Up!
- 3.実例リポート!断熱化リフォームのお宅を取材
- 4.賢い断熱のススメ
- 5.住まいに取り入れたい商品ラインナップ
- 6.省エネルギー基準義務化
- 7.リフォームローン選びのポイント

**Q4** 現在のお住まいについて

**Q5** 今後リフォームは検討していますか?

**Q6** 断熱リフォームに関心をもってもらいましたか?

下記からは非常に关心をもった方・少し关心をもった方に質問です

**Q7** 住まいの断熱化にかけても良いと考える予算はどの位ですか?

**Q8** 住まいの中で一番、断熱をしたいと考えた場所はどこですか?

**Q9** YKK APの体感ショールームを見学したいですか?

\*上記ショールームは単独では見学できません  
ニッカホームの紹介及担当営業と同伴での見学となります

**Q10** 断熱に関するより詳しい資料が欲しいですか?



**PRESENT**

## アンケートに答えて プレゼントを当てよう!

アンケートにお答えいただいた方の中から  
抽選で30名様にプレゼント!

旅行券  
30,000円分

QUOカード  
3,000円分

QUOカード  
500円分

※写真はイメージです。

## 豊富なリフォーム実績と確かな技術が支える ニッカホームの安心リフォーム

安心で高品質の自社施工&一貫体制。

ご依頼をいただいた工事の高品質と、コスト削減の為、

当社では自社施工と一貫体制の組合せを徹底しております。

お客様の満足度、現場の質向上に

真摯に取り組んでおります。

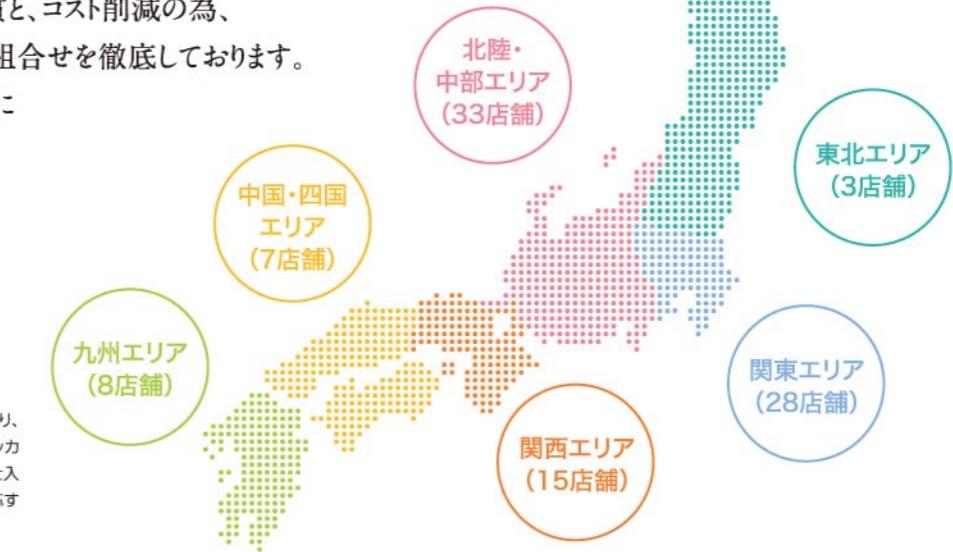
### 安心の価格設定

全国の展開力を活かした大量仕入れにより

安価で仕入れるルートを確保

**全国 94店舗展開**

ニーズに合った商品を、納得いただける価格で提供。家づくり、空間づくりには、さまざまな材料が使われています。ニッカホームグループでは、大量仕入れによるメリットと幅広い仕入れルートを活かし、低価格でお客様の多彩なニーズに対応する商品をご提案します。



### 豊富な施工実績

経験豊かな自社職人を中心には、  
確かな施工を実施

**施工件数 累計 649,000件**

\*グループ全体(~2022年12月)

どんなに優れたプランも、カタチにするのは職人です。ニッカホームで施工を行うのは、経験豊富な自社職人が中心。プランナーと共に、一軒一軒のケースにふさわしい施工方法をご提案します。



### 高い提案&技術力

経験豊富な一級建築士・プランナーが  
丁寧にコンサルティング給排水管や断熱性能、  
メンテナンス性など、  
目に見えない部分まで考慮

「快適な住まい」は、人それぞれ。「私らしく」過ごせる空間、新しい自分や新しい暮らしに出会える空間を創り出すことが大切であると私たちは考えています。窓リフォームに精通した窓スペシャリスト・窓マイスターも多数在籍。お客様の潜在的な「想い」まで汲み取り、プロの視点から快適に暮らせるアイディアをご提案、確かな技術でそれをカタチにします。

### 万全のサポート力

近隣にお住まいの方への配慮  
(マンションは管理組合への申請サポート)  
最高10年の保証・保証書発行  
アフターメンテナンス

お引渡し後に最高10年の保証書とアンケートをお渡しします。  
ご返信いただいたアンケートは、一層の品質とサービスの向上に活用させていただきます。不具合の発生に迅速に対応します。  
リフォーム中はもちろん、リフォーム前後も安心していただけるサービスをご提供します。

### お住まいのことなんでも、お近くのニッカホームにご相談ください

世田谷ショールーム	杉並ショールーム	品川旗の台ショールーム	大田大森ショールーム	練馬ショールーム
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢8-5-4 TEL: 0120-17-7549	〒168-0065 東京都杉並区浜田山4-10-6 TEL: 0120-17-7549	〒142-0064 東京都品川区旗の台6-33-11 TEL: 0120-17-7549	〒143-0012 東京都大田区大森東1-6-1 TEL: 0120-17-7549	〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町2-14-18 TEL: 0120-17-7549
板橋ショールーム	足立ショールーム	江戸川ショールーム	羽村ショールーム	八王子ショールーム
〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町13-6 TEL: 0120-17-7549	〒121-0813 東京都足立区竹の塚2-10-1 TEL: 0120-17-7549	〒132-0033 東京都江戸川区東小松川2-33-12 TEL: 0120-17-7549	〒205-0013 東京都羽村市富士見平2-18-1 TEL: 0120-88-7549	〒192-0062 東京都八王子市大横町11-8 TEL: 0120-88-7549
立川ショールーム	調布ショールーム	町田ショールーム	横浜鶴見ショールーム	横浜南ショールーム
〒190-0015 東京都立川市泉町841-143 TEL: 0120-88-7549	〒182-0022 東京都調布市国領町1-1-1 TEL: 0120-88-7549	〒194-0032 東京都町田市本町947-1 TEL: 0120-88-7549	〒230-0071 横浜市鶴見区駒岡3-4-28 TEL: 0120-01-7549	〒232-0064 横浜市南区別所1-15-12 TEL: 0120-01-7549
横浜保土ヶ谷ショールーム	横浜金沢ショールーム	横浜泉ショールーム	横浜緑ショールーム	湘南藤沢ショールーム
〒240-0064 横浜市保土ヶ谷区峰岡町1-13-1 TEL: 0120-01-7549	〒236-0016 横浜市金沢区谷津町9 TEL: 0120-01-7549	〒245-0014 横浜市泉区中田南2-14-13 TEL: 0120-01-7549	〒226-0019 横浜市緑区中山4-11-10 TEL: 0120-01-7549	〒251-0056 神奈川県藤沢市羽鳥5-5-44 TEL: 0120-01-7549
相模原ショールーム	千葉ショールーム	船橋ショールーム	宇都宮ショールーム	前橋ショールーム
〒252-0238 神奈川県相模原市中央区星が丘3-8-24 TEL: 0120-01-7549	〒260-0007 千葉市中央区祐光1-1-34 TEL: 0120-17-7549	〒273-0021 千葉県船橋市海神5-29-59 TEL: 0120-17-7549	〒321-0962 栃木県宇都宮市今泉町2995-1 TEL: 0120-17-7549	〒371-0831 群馬県前橋市小相木町765 TEL: 0120-17-7549
さいたま南ショールーム	所沢ショールーム	川口ショールーム	スタッフブログ・施工事例多数掲載中!	
〒336-0022 埼玉県さいたま市南区白幡4-7-1 TEL: 0120-55-7549	〒359-1126 埼玉県所沢市西住吉10-21 TEL: 0120-55-7549	〒334-0051 埼玉県川口市安行藤八463 TEL: 0120-55-7549	ニッカホーム 検索 nikka-home.co.jp	

ニッカホーム関東株式会社 ●一級建築士事務所(都)第62230号 ●建設業許可/国土交通大臣許可(般一28)第26232号 ●東京都木造住宅耐震診断事務所 第818号  
●TOTOリモデルクラブ ●LIXILリフォームネットワーク会員 ●(株)日本住宅保証検査機構事業者登録